

令和 4年度 施策評価シート（令和 3年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち  
 施策 02 緑を生かした景観の形成  
 主管課： 都市計画課  
 関係課： 経済課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市内全域	意図（どのような状態にしたいのか） 市民が美しいと感じる景観が維持・創出されるまちをつくる。
--------------------------	---

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

緑被率（公園・樹林地・農地・草地・水面）							(%)	都市計画課
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)		
62.00	61.50	61.30	61.20	61.08	60.97	60.00		
向上指針	上がると良い	(現状) 前年度から0.11ポイント減少していますが、目標値は上回っています。 (原因) これまで保存緑地の指定や愛宕谷津の借地などを進めてきたことで、緑の保全が図られているためと考えられます。						
対前年度	横ばい							
目標達成度	達成							
次年度課題	課題としない							

市内には、緑を生かした美しい景観が十分にあると思う市民の割合							(%)	都市計画課
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)		
75.40	75.90	78.80	76.50	81.90	82.80	75.00		
向上指針	上がると良い	(現状) 前年度より0.9ポイント増加しており、目標値を上回っています。 (原因) 市特有の緑である斜面林、平地林等を保存緑地の指定、愛宕谷津の保全していることや身近な緑である公園、緑地、街路樹を生かしたまちづくりが美しい景観を感じているものと考えられます。						
対前年度	横ばい							
目標達成度	達成							
次年度課題	課題としない							

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)		
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
向上指針								
対前年度								
目標達成度								
次年度課題								

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	541,539	610,485	621,840	603,134	603,134
人件費	28,741	29,353	17,623	0	0
トータルコスト	570,280	639,838	639,463	603,134	603,134

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
01 美しい都市景観の形成	横ば					4,244	2,333	3,069	5,725	5,725
02 緑地の保全	低下					3,472	8,919	15,865	11,068	11,068
03 公園・街路樹等の維持管理	横ば	維持				532,844	598,266	601,992	585,236	585,236
99 施策の総合推進						979	967	914	1,105	1,105

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>守谷市屋外広告物条例に基づき、平成26年度から実施していた第一期是正計画が令和2年度に一巡したため、令和3年度から第二期是正計画により是正指導を実施した。緑の基本計画の目標年次を迎えたことから、これまでの緑の施策等の進捗状況を検証し、多様な生物が共存・共生できる持続可能なまちづくりを目指した「第二次緑の基本計画」を策定し、令和3年10月公表しました。</p>	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	維持
	コスト方向性	維持

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>第二次守谷市緑の基本計画に基づき各種施策を推進します。特に重点地区の野鳥のみち周辺地区においては、風致地区・特別緑地保全地区の指定や土地取得のための補助制度及び基金制度を探索し、恒久的に維持保全を図ります。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性

<p>良好な都市景観維持のため、第2期是正計画に基づく是正指導を行う。また、景観に影響を与える建築物等に対し指導等を行う。第二次守谷市緑の基本計画に基づき、今後も緑化重点地区における保存緑地の指定を推進させる。また、愛宕谷津周辺の保全のため、借地契約の拡大を図る。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持